



こうごしま No. 155 議会だより

平成 25 年 2 月 22 日 発行 / 神津島村議会 編集 / 議会だより編集委員会 ☎ 04992 (8) 0011
<http://vill.kouzushima.tokyo.jp/> E-mail kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp



消防団出初式



乗り初め



議会現場視察



消防団出初式

目次

- ◇ 平成24年第4回定例会（12月11日）…………… 2
 選挙 1 件、補正予算 4 件
- ◇ 一般質問 …………… 3
 2 名の議員が一般質問
- ◇ 平成24年第2回臨時会（10月22日）…………… 4
 契約 1 件
- ◇ その他 …………… 4
 議会現場視察、議会日誌、編集後記

平成 24 年 第 4 回 定例 村議会

選挙 1 件

●選挙管理委員会委員及び補充員選挙について

総務課長（中村勝二君）選挙管理委員会委員及び補充員の任期が平成 24 年 12 月 20 日をもって満了することに伴い選挙を行うもの。

選挙方法は指名推薦で行われ、選挙管理委員は中村喜代通君、浜川洋一君、梅田功夫君、梅田圭一君が当選。選挙管理委員補充員には第 1 順位、松本勇一君、第 2 順位、藤井幸弘君、第 3 順位、石田保子君、第 4 順位、松江みどり君が当選した。

◎議案第 34 号「平成 24 年度東京都神津島村一般会計補正予算（第 2 号）」

企画財政課長（前田 弘君）歳入歳出それぞれ 4,829 千円を追加するもの。

9 番（松江孝雄君）地域活動支援センター事業補助の事業内容は、福祉課長（清水博可君）生産活動、日中一時支援、生活サポート事業、相談支援事業の四つが主な事業内容。

8 番（石田高道君）農業振興費の有害鳥獣対策。捕獲の状況は、産業観光課長（清水 豊君）

本日、カラスが数十羽捕獲された。

7 番（中村親夫君）温泉施設費の光熱水費 142 万円の追加要因は、

産業観光課長 来客数の増と電気料の値上げが主な要因。

7 番 4号井の点検及び湯温調査工事とは、

産業観光課長 湯温が低い原因を調査するもの。

5 番（石野田富士雄君）観光費の報償費、需用費でホテル関係の管理と消耗品の減額理由は、

産業観光課長 ホテルの指導を受けている団体から無償で指導や消耗品が受けられたため。

5 番 水がしりりで幼虫を羽化させて神社へ放す計画は予定通りだったのか。

副村長（浜川謙夫君）水がしりの温度が低すぎたため、幼虫が育たなかった。

5 番 今後ホテル事業はどうするののか。

産業観光課長 成虫を購入し、見せる施設に転換する方向で施設の有効を図る。

9 番 老人デイサービスセンター事業減額、訪問介護事業の追加の説明を。

福祉課長 デイサービスは 365 日営業を開始したため。

訪問介護事業は、職員の異動によるもの。

7 番 総務費の一般管理費、旅費 160 万円の追加の内容は、総務課長（中村勝二君）職員研修参加のための研修旅費の追加 12 万円、防災訓練や一部事務組合、地方分権の会議の増に伴う普通旅費の追加で 148 万円。

9 番 農業振興費関連だが田の沢農業研修施設の応募者は何人あったのか。

産業観光課長 3 名募集し、2 名の応募があった。

6 番（石田隆美智君）基盤整備促進事業費の中で農道柑が沢線道路新設工事・測量設計委託 1,250 万円の減額の要因は、

建設課長（桜井隆明君）当初予算組みをした後に、東京都から震災の関係で事業費を減額してほしいとの要望があり、委託費を全額減額したもの。

6 番 温泉施設の職員異動に伴い、職員がいらない状態だが、この状態はいつまで続くのか。

副村長 早々に職員を配置しなければならぬと考えている。

3 番（清水勝彦君）よっちゃーれセンター 2 階飲食品売払収入 170 万 8 千円追加とあるが、何月から何月分までが追加なのか。

産業観光課長 7 月、8 月に来客数が 2,900 人伸び、売り上げが 160 万 6 千円ほど上がったことによるもの。

2 番（石野田繁一君）鈴木文庫から新しい図書館への書籍の移

しかえの進行具合は。教育課長（藤井小百合君）すべて完了している。

9 番 オリன்பピック・パラリンピック招致活動補助金が水産業振興費になった理由は、

企画財政課長（前田 弘君）乗り初めに大漁旗を各船に掲げ盛大に祝おうというもので、船主組合に対し補助するもの。

9 番 オリன்பピック・パラリンピックの文言が何かに表示されないと言伝にもならないのでは。

企画財政課長 旗の中に 2020 オリンピック立候補都市東京という文言を入れる予定。

4 番（山岸義光君）観光客が増えている中、村営バスの採算はとれているのか。

産業観光課長 年間通して採算がとれるかという難しい。

4 番 温泉やよっちゃーれの利用が増えてもバスの利用が増えないのは、何か要因があるのか。

産業観光課長 バスの利用収入は前年からは確実に伸びている。

1 番（松本裕一君）温泉施設費の中で専用工具の購入 150 万円や、当初で備品購入費が 310 万円とあったが、以前の答弁通り、今後は地元の業者にも対応していただくのか。

産業観光課長 島内業者が下請に入る形でこちらの工事に加わる計画。

9 番 商工総務費の旅費と需用費の減額の理由は、

産業観光課長 佐久市物産展の日程と重なり、奥多摩町物産展に行けなかったこと、島自慢で都内での協力者が見つかったための旅費の減額。需用費でも奥多摩町物産展に伴う物販購入費の減額と物販品の精査を行って経費の節減を図ったことが理由。

1 番 大六殿展望台整備工事が終了したが、車が乗り入れている。夏までに進入禁止措置をとってもらいたい。また花壇なども工夫してもらいたい。

産業観光課長 車が進入できないような形での措置はとりたくない。花壇については、部内で協議して、早速準備を進めたい。

◎議案第 35 号「平成 24 年度東京都神津島村国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）」

福祉課長 事業勘定では、歳入歳出それぞれ 2,100 千円を追加するもの。

保健医療課長（鈴木幸俊君）直診勘定では、歳入歳出それぞれ 1,845 千円を追加するもの。

3 番 ヘリ添乗医師確保事業補助金で 6 回分として 4 万 5 千円とあるが、救急患者搬送に伴う医師等謝礼 9 万円も 6 回分という解釈で良いのか。

保健医療課長 そのとおり。

3 番 最近も緊急搬送が多いように感じるが、今年の患者の搬送回数は、

保健医療課長 そのとおり。

保健医療課長 例年、年間で大体40件ぐらいあるが、今年は11月末で33件あった。

3番 透析を行っている患者は現在何名いるのか。また現在、診療所で受け付けられる透析患者の数は。

保健医療課長 透析患者のほうは、現在は6名。受け入れ態勢は今の体制では8人まで。

3番 将来的に希望者が多くなった場合の対処は。

村長(石野田富弘君) 現状では、このままの形で推移していったら、多くても8名ということにとどまるのではないかと考えている。今後、10名とか、12名というケースが生じた場合は、その時点で考えなければならぬ。

9番 退職被保険者等療養給付費の負担が1000万円の追加、高額療養費が100万2千円追加だが、これは年度末までを試算した追加の額ということか。

福祉課長 今後の医療費の推移によっては、3月の時点で若干の補正があるかもしれない。

《原案可決》

◎議案第36号「平成24年度東京都神津島村農業集落排水特別会計補正予算(第2号)」

環境衛生課長(土谷清春君) 歳入歳出それぞれ1千円を追加するもの。

《原案可決》

◎議案第37号「平成24年度東京都神津島村介護保険事業特別会計補正予算(第2号)」

福祉課長 歳入歳出それぞれ13,430千円を追加するもの。

7番 居宅介護サービス給付費と居宅支援サービス給付費の追加要因は、デイサービスやショートサービスの増によるものか。

福祉課長 そのとおり。

7番 居宅支援住宅改修費と居宅介護住民改修費が増えているが今後の見通しは。

福祉課長 増えていく見通し。

7番 工事の内容は。

福祉課長 主に廊下、風呂場の手すり、玄関周りの段差の解消等。

《原案可決》

7番 中村親夫議員

◎離島振興法の一部を改正する法律について

7番 離島振興法の一部を改正する法律が平成24年6月20日、参議院本会議にて成立した。改正された法律をどのように評価しているか。そして、この法律を活用し、住民の暮らしに直結する要望実現のため、村の基本的考えを伺う。

村長 今回の離島振興法の改正の眼目の一つは、定住促進と格差是正を見据えたソフト支援策にあると言われている。10年間の時限立法を単に延長するとい

うことではなく、条文の追加や法律の本身を離島住民の利益に資するために改正されたものととらえていて、高く評価している。住民の暮らしに直結する定住対策の位置づけは、雇用の確保が喫緊の課題であるが、現段階では、村の素案を基に東京都が作成しなければならぬ離島振興計画が作成されていないので、具体的な回答は現状のところできないことを理解していただきたい。

7番 私は、この離島振興法が10年間延長になったことと併せて、離島活性化交付金が創設され、対象事業としてガソリン流通コスト、妊婦通院、出産支援、高校生就学支援等の交付が実現できると、離島の産業基盤、生活環境が他の地域より低位にある状況が幾らかでも改善できることを評価している。

◎神津島における波力発電について

7番 黒根沖で実施されている実証研究は順調に進んでいるか、ブイの影響で漁業協同組合からのクレーム等はないか伺う

副村長 黒根沖のブイは、波力等のデータを取るための調査であり、12年度末にNEDOとの協議を再度して2013年度から実証試験、13年度は詳細設計、14年度は製造据え付け、15年度に実証試験を行い評価するというスケジュールになっている。

今年も神津島波力発電関係者協議会を4回開催した。第2回、第4回の神津島開催において漁協組合長が出席しており、漁業協同組合からのクレームはない。

◎教育長のアクションプラン(行動計画)は

7番 新教育長は、教育畑を長年積み重ねたキャリアにより学校教育、社会教育等に卓越した技量、力量をお持ちのことと思う。教育長に就任されて2ヶ月です。課題として学力の向上や図書館利用が挙げられる。今後取り組むべきテーマを決めて、改善案の検討、改善策の実施をしていく、そのようなアクションプランの考えがあれば伺う。

教育長(石野田博文君) アクションプランを二つ挙げたいと思う。一つは、地域で学習する環境を作る。小学生には放課後図書館に来て学習室で30分程度学習する場を与えたい。読み、書き、計算の学習をした後は宿題をする。3ヶ月、1年と続ける中で基礎学力は向上していきたい、定着していく。もう一つは、熱意のある教職員を招聘する計画を立てている。夏休みの終わりごろ、東京都の教職員の神津島ツアーを計画している。実際には神津島に来て海や山を見学し、体験し、この島でやりたい、子供たちのためや地域のために尽くしてみたいという教職員を集めたいと思っている。

9番 松江孝雄議員

◎図書館の利用について

9番 神津島離島振興計画の素案の中に、図書館を核として幼児から高齢者まで、いつでも学ぶことができるネットワークづくり、文化の島を構築する取り組みです。ひとりでも多くの方に利用していただくため、年に一度、児童、生徒を対象に読書週間を設け、感想文コンクールを開催し、読書の奨励、生涯学習につなげたらどうか。

村長 読書週間は既に終わっているが、毎年この時期に実施できればと考える。感想文コンクールを実施するかは学校側の意見を尊重しながら、教育長とも協議し決定していきたい。

9番 図書館に郷土史コーナーの設置、コピー機の設置、パソコンの設置、新聞、提案箱の設置を行い、人材育成や情報発信等の拠点になればと考える。村として図書館の役割と利用の方策について伺う。

村長 島コーナーはあると伺っているが、島に関係する図書が配置できればと思っている。パソコンについては予算の関係があり、新聞についても同様であるが、必要な備品であると考えている。提案箱の設置については、利用者が直接受付の担当者に要望していただければと思っている。図書館の役割については、設置及び運営上の基準がある。住民のために資料や情報の

提供等、援助を行う機関として努めるとともに、利用者の声を十分に反映させる運営がなされるよう検討する。図書館の利用方策については、教育長を中心に児童、生徒を対象に図書館を活用して、学力の強化と蔵書の購入も計画的に行いたい。

9番 古民家の活用について

9番 図書館の管理者による古民家の開閉を行い、古民家を見に来た方の、氏名記帳簿の備え付けと、旧資料館の展示品で、未展示の品を古民家に展示したかどうか。

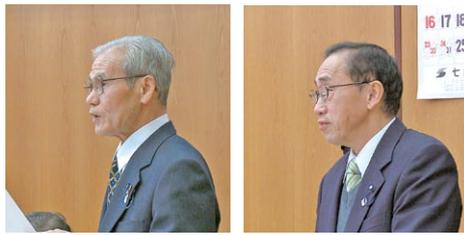
村長 古民家の入り口前に説明板が必要だと思ふ。利用について検討していきたい。記帳簿を備えることは、利用者を知ろうて必要であり準備をしたいと思ふ。旧資料館に展示されている品で、残っている品については点検のうえ、古民家に展示がふさわしい品であれば、展示を考えたい。

9番 古民家に薪用の「かまど」を設置し、戦前から戦後に食した「ふかし芋」や「は」等、体験試食会を行ったかどうか、また電気のない生活体験等、観光に生かすことも考えたかどうか。

村長 復元された古民家が有効に活用されることは、当然必要なことだと思ふ。「ふかし芋」は「ご」等、郷土の伝統的な料理をつくり食すことは、おもしろいアイデアだと思ふが、古民家

は貴重な文化財であり、火災を考えると二の足を踏んでしまう、火を使うことには少し抵抗がある。観光に生かす生活体験について、今後どのようなものが考えられるのか、いろいろ考えられることがあると思ふので、住民の方、議会と一緒に考えていければと思っている。古民家が無用の長物とならないいろいろな方法を考えていきたい。

一般質問を行った2名の議員



＜松江孝雄議員＞ ＜中村親夫議員＞

第2回臨時会

契約1件

◎議案第33号「村道風早線道路新設工事請負契約」

建設課長（桜井隆明君） 村道風早線道路新設工事の内容を變更するもの。
9番 重力式擁壁だが、1号と6号の高さは。
建設課長 1号から6号までのおおよその高さだが、低いところで594ミリ、高いところは3メートル61センチ。
《原案可決》
平成25年1月13日、毎年恒例の議会現場視察を行い、本年度の村内主要公共工事の現場の視察を行った。
議会議場視察
現場視察一覧
道路災害復旧工事(支庁)
村道14号線道路改修工事(村)
村道120号線道路改修工事(村)
一般廃棄物安定型最終処分場建設工事(村)
神津沢砂防工事(支庁)
村道風早線道路新設工事(村)
三浦漁港75M白地整備及びその他工事(港湾)
神津島港護岸(防波)改良建設工事(他港湾)
歩道設置工事(支庁)
多幸林地荒廃復旧工事(支庁)
三浦漁港船客待合所改修工事、他(港湾)
三浦漁港船揚場建設及びその他工事(他港湾)
神津島空港アクセス道路改良工事(他港湾)

議会日誌

Table with columns for month/year and dates, listing various council activities such as meetings, site visits, and committee work.

編集後記

神津島の春の兆しは寒さの底、2月上旬、立春を過ぎ光の春を感じたウグイスの初鳴き(2月6日頃)から始まります。草木では2月中旬頃にカジイチゴ、オオバヤシヤブシ(ハンノキ)、ガクアジサイの芽吹きが始まり、3月に入りハチジョウウキブシ(黄緑色をしたブドウの房状)の花が咲き春爛漫の季節に移っていきます。
さて、時限立法である離島振興法の一部を改正する法律が昨年6月20日参議院本会議にて成立しました。
平成25年3月31日までの離島振興法の有効期限が、10年間(平成35年3月31日まで)延長されました。
離島振興法の目的として、我が国の領域、排他的経済水域の保全、海洋資源の利用等に重要な役割を担っている離島について、産業基盤及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある状況を改善することがあげられています。
改正のポイントの一つは、離島活性化交付金が創設されたことであり、対象事業としてガソリン流通コスト対策、妊婦通院・出産支援、高校生就学支援等が予定されており、これらの事業が実現され、神津島の産業基盤、生活環境がいくらかでも改善できることを期待します。

編集委員長

- List of editorial board members including 委員長 中村 親夫, 副委員長 石野田 富士雄, 委員 清水 栄一, 委員 石田 隆美智, 委員 山岸 義光.